

マスケットキャラクターとタオルを作製した創立100周年記念プロジェクトチームのメンバー
 〓日置市の伊集院高校



伊集院高 いじゅ太郎 いじゅ公 いじゅ丸

創立100年マスケット考案

今年創立100年を迎える伊集院高校の生徒が、記念のマスケットキャラクターを考案した。2月29日の卒業式予行で、キャラクターをあしらったタオルとともに披露した。

「愛されキャラになって」

生徒会が中心になってプロジェクトチーム（PT）をつくり、昨年11月に全校生徒からキャラクターを募集。応募が多かった人と犬、リスをモチーフにPT内で協議し、OBの協力も仰ぎながら3体のマスケットを制作した。

名称は生徒に選択式のアンケートを行い、戦国武将姿の「いじゅ太郎（人）」、校章をモチーフにしたたてがみが特徴の「いじゅ公（犬）」、尻尾がユスノキの「いじゅ丸（リス）」に決

同日は全校生徒が集まった体育館で、制作過程などをスライドで説明。卒業生らからねぎらいの拍手が送られた。「みんなが協力して、100周年の区切り新たな1歩を刻めた」と、生徒会長の日野龍太郎さん

〓2年。いじゅ公のデザインと名前を考案し、ほか2体も統一デザインにアレンジした1年の町田美有さんは「伊高と言えは、この3体と言われるような愛されキャラになってほしい」と話した。
 同校は1924年4月、

県立伊集院中学校として第1回入学式を挙行。48年に現校名になった。マスケットは今後学校公式の交流サイト（SNS）で発信。タオルは全校生徒に配布するほか、11月の100周年記念式典などで販売する予定。

（重島修一）

3/5(火) 南日本新聞